



平成 21 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社NFKホールディングス
代表者名 代表取締役社長 城寶 豊
(JASDAQ・コード 6494)
問合せ先 役職・氏名 取締役 田中 耕
電話 045-575-8000

平成 22 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月14日付「平成21年3月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想について、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期連結累計期間 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株あたり当期純利益
前回予想 (A)	1,653	△108	△101	△13	△0.45
今回修正 (B)	1,698	△73	△64	84	2.87
増減額 (B - A)	45	35	37	97	—
増減率	2.7%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	1,827	150	161	114	3.85

(2) 業績修正の理由

売上高は、前回の予想をわずかながら上回る 1,698 百万円となる見込みです。営業利益、経常利益につきましては、販売管理費の抑制に努めた結果、それぞれ予想をやや上回る 73 百万円および 64 百万円の損失となる見込みです。四半期純利益につきましては、損害賠償請求訴訟の和解金 30 百万円の特別利益の発生および、引当金の戻入などにより 84 百万円と前回の予想を上回る見込みであります。

(3) 通期 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり当期純利益
前回予想 (A)	3,618	11	19	55	1.88
今回修正 (B)	3,124	△190	△178	△30	△1.03
増減額 (B - A)	△494	△201	△197	△85	—
増減率	△13.7%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	3,895	147	155	88	2.99

(4) 業績修正の理由

通期業績予想につきましては、昨年の秋以降に急速に悪化した景気動向に一部回復の兆しは見られるものの、本格的な回復には至っておらず、企業業績の悪化にともなう設備投資の冷え込みは一段と顕著になってきております。上期におきましては、好調であった前期の受注案件などもあり、予想を上回る業績を見込んでいるものの、下期に向けた新規受注が低迷していることから、期首の各部門ごとの業績予想の見直しを行った結果（下記部門別通期業績予想を参照）通期連結業績予想を修正することを決定致しました。

厳しい事業環境ではございますが、引き続き積極的な営業活動を展開して新規受注の獲得を目指すとともに、販売管理費の抑制などに努めてまいります所存です。

主な部門別 通期 (連結) 売上予想

(単位：百万円)

部門	当初予想売上高	修正後予想売上高	増減率
環境装置石油化学部門および産業機械用機器部門	1,230	1,047	△14.8
工業炉部門	590	582	△1.3
ボイラ用機器部門	600	431	△28.1
工業炉用機器部門およびHRS部門	460	442	△3.9
メンテナンスサービス部門	266	209	△21.4
部品部門	300	231	△23.0
電気計装制御盤部門	162	102	△37.0
その他	86	86	—

*セグメント間取引について、一部相殺消去などを考慮していない部分があります。

「環境装置石油化学部門および産業機械用機器部門」

環境装置石油化学部門および産業機械用機器部門につきましては、当初は大型受注案件等を見込んで前年度売上高 902 百万円を大きく上回る 1,230 百万円の売上高を予定しておりましたが、一部の案件において受注が難航していることなどから、期首の予想を下回る 1,047 百万円の予想に修正しております。

「ボイラ用機器部門」

ボイラ用機器部門につきましては、ボイラ業界全体の需要が当初の予想以上に低迷していること、また、当初見込んでいた海外向け案件の受注が難しい状況となってしまったことなどから、期首の予想を下回る 442 百万円の予想に修正しております。

「メンテナンスサービス部門」

メンテナンス部門につきましても、全体的な受注案件が低迷していること、および期首に予定していた、廃棄物処理関連装置の受注案件（約 30 百万円）が延期となったことなどから、当初の予想を下回る 209 百万円の予想に修正しております。

「部品部門」

部品部門につきましては、「環境装置石油化学部門および産業機械用機器部門」および「ボイラ用機器部門」の売上予想の下方修正を受け、期首の予想を修正しております。

「電気計装制御盤部門」

電気計装制御盤部門につきましては、通常半年に数件程度発生している中規模案件の受注が今期に入って低迷していることから、売上高が期首の予想を下回っており、前回予想売上高 162 百万円を大きく下回る 102 百万円の予想に修正しております。

2. 平成 22 年 3 月期 個別連結業績予想について

個別業績予想につきましては、第 2 四半期連結累計期間および通期のいずれにつきましても、業績予想の修正はございません。

(注) 上記の予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上